

平成 27 年度 建設産業戦略的広報推進協議会 事業計画

建設産業戦略的広報推進協議会では、若年者等の入職促進を図るため、特に若年者・保護者・教員等に建設業の魅力を伝えていくことに重点をおいて、以下の事業を実施する。

【広報イベント等の推進】

○高校等キャラバンの実施（秋・冬頃実施予定）

若年者の建設業への関心を高めることを目的として、建設業団体・企業、外部有識者、行政機関が一体となって学校に出向き、face to faceにより建設業の役割や魅力等を直接語りかけ交流する高校等キャラバンを実施する。

※平成 27 年度は、建設系コースを有する工業高校だけでなく、建設系コース以外の高校や小中学校にも対象を拡大して実施する。

○「子ども霞が関見学デー」等のイベントへの参加（夏頃実施予定）

国土交通省が文部科学省等と連携して開催する「子ども霞が関見学デー」に昨年度に引き続き参加する。H27年度においても、昨年度好評であった専門工事業の作業体験や建設機械の試乗体験等を行うこととし、ものづくりの素晴らしさや建設業の魅力を伝える。

○広報拠点の拡大推進（夏頃実施予定）

人材協賛団体をはじめ人材確保・育成に連携して取り組む方々を広報拠点であると捉え、「建設現場へGO！」の統一バナー及びロゴマーク等を活用し、人材協が運営するWEBサイトの周知拡大を図る。H27年度は、建設系コースを有する工業高校、専門学校ホームページに「建設現場へGO！」のバナー掲載を働きかける。また、広報拠点におけるバナー・ロゴマークの設置状況をフォローするとともに、より効果のあるPR方法を検討する。

○新たな発信媒介メディアを通じたPR（春頃実施予定）

H27年度は、人材協が運営する「建設現場へGO！」、「18歳のハローワーク」、「建設産業で働く女性がカッコイイ」（以下、「建設現場へGO！」等という。）を若年者により知ってもらうため、ポスターを作成し、「高校生の作文コンクール」の募集案内を全国の建設系工業高校へ送付する際に、併せてポスターの配布と学校内における掲示の依頼を行う。また、若年者の目にとまる機会を増やすため、その他の高校等に対するポスター掲示の依頼方法等を検討する。

【情報発信の強化】

○総合ホームページの拡充

「建設現場へGO！」等を若年者向けにスマートフォン対応とするとともに、新たなコンテンツの開発を含め、随時、内容の拡充を図る。

□「建設現場へGO！」（通年実施）

人材協協賛団体をはじめ地域連携コンソーシアム等の活動・成果等を随時、紹介するため、一ヶ月あたり10件程度の新規情報を登録する。

□「建設産業で働く女性がカッコイイ」（通年実施）

建設業しんこうの取材と連携して、女性経営者、女性技術者・技能者のインタビューを継続的に掲載するとともに、女性の入職、処遇改善等に意欲的な企業情報を収集し、WEBサイトにおいて公表する。

○同種・同様の取り組みを目指す地域の協議会等との連携強化（通年実施）

人材協の協賛団体及びその会員団体計約150団体が人材確保・育成に資する取り組みについては、WEB上に構築した「建設産業担い手確保・育成事例集」に蓄積することとし、人材協の協賛団体に留まらず、同種・同様の取り組みを行おうとする地域の協議会等（地域連携コンソーシアム等を含む）に対して、情報の水平展開を図る。

○メーリングリストの活用による情報更新の通知（春頃実施予定）

「建設現場へGO!等」の情報を追加・更新した際に、広報のメインターゲットである若年者や人材協協賛団体、教育機関等で共有されるべく、登録された者に対してメールにて通知するメーリングリストを運用する。